



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

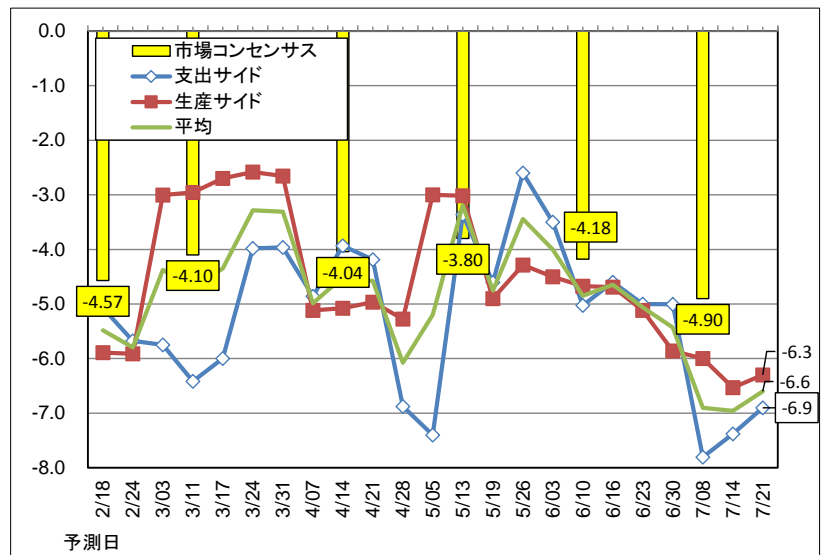
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

日本経済(週次)予測(2014年7月21日)

ポイント

- ▶今回予測に更新されたデータは、5月の鉱工業指数(確報値)、毎月勤労統計(確報値)及び建設総合統計である。
- ▶これらは、民間企業設備、民間企業在庫品増加、公的固定資本形成及び雇用者報酬の予測値に影響を与える。
- ▶5月の資本財出荷指数は前月比-1.5%となり、3カ月連続のマイナス。速報値を上回った結果、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から小幅上方修正。
- ▶5月の公共投資は前月比+5.3%増加し6カ月ぶりのプラス。実績値は事前予測を上回った、結果、4-6月期の実質公的固定資本形成の予測値はかろうじて成長にプラス寄与となった。7-9月期はさらに押し上げが期待できる。
- ▶今週(7/21)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比年率-6.9%と予測。先週の予測から上方修正。実質民間企業設備、民間企業在庫品増加及び実質公的固定資本形成の予測値はいずれも上方修正となったためである。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率
2014年4-6月期(%, 前期比年率換算)



<4-6月期公的固定資本形成かろうじて成長にプラス寄与、7-9月期は押し上げ期待高まる>

先週(7/14-18)更新されたデータは、6月の公共工事請負金額、5月の鉱工業指数(確報値)、毎月勤労統計(確報値)及び建設総合統計である。これらは、民間企業設備、民間企業在庫品増加、公的固定資本形成及び雇用者報酬の予測値に影響を与える。

5月の資本財出荷指数は前月比-1.5%となり、3カ月連続のマイナス。速報値(同-2.8%)を上回った。結果、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から小幅上方修正された(前期比-0.7%→同-0.5%)。

5月の最終需要財在庫指数は前月比+6.4%と3カ月連続のプラス。速報値(+6.3%)から小幅の上方修正。結果、4-6月期の実質民間在庫品増加の予測値は先週から幾分上方修正(-3.859兆円→-3.845兆円)。

公共工事の先行指標である公共工事請負金額(季節調整値、筆者推計)は4-6月期に前期比+26.3%拡大した。ただ公共工事の未消化率は依然高いことに注意。5月の公共投資(同)は前月比+5.3%増加し6カ月ぶりのプラス。実績値は事前予測(同+3.7%)を上回った、結果、4-6月期の実質公的固定資本形成の予測値はかろうじて成長にプラス寄与となった(前期比-1.6%→同+0.7%)。7-9月期はさらに押し上げが期待できる。

今週(7/21)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比-1.8%、同年率-6.9%と予測。先週の予測(-7.4%)から上方修正となった。実質民間企業設備、民間企業在庫品増加及び実質公的固定資本形成の予測値はいずれも上方修正となったためである。4-6月期は、純輸出(前期比+0.8%)が拡大に転じるが、内需が駆け込み需要の反動で大きく縮小(前期比-2.5%)する。

- ・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
- ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
- ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690